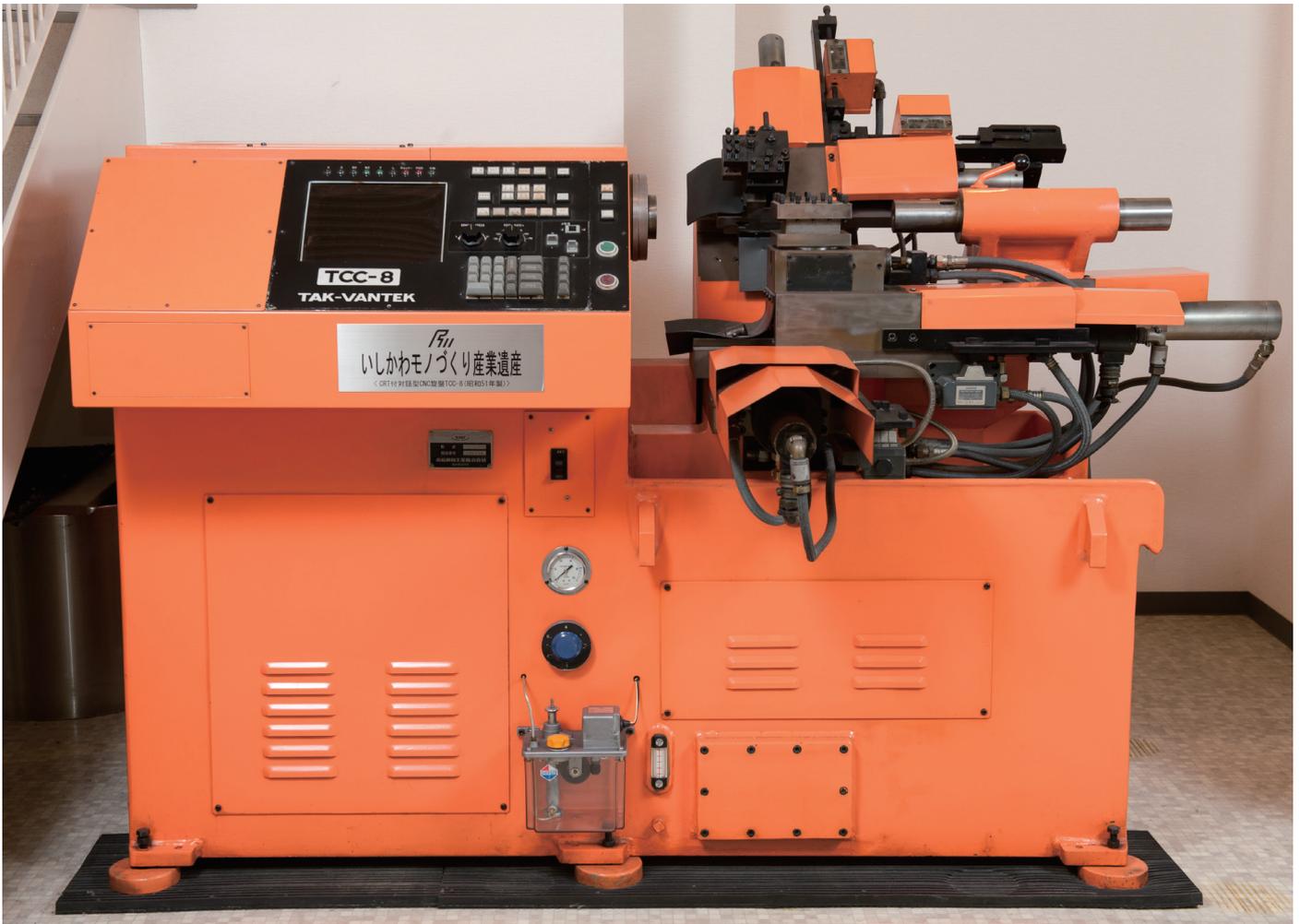


せんばん

CRT付対話型CNC旋盤TCC-8（昭和51年）



企業名 (所在地)	高松機械工業株式会社 (白山市旭丘1丁目8番地)
公開場所	本社エントランス
機械の説明	<p>国内初のマイクロコンピュータを搭載し、機械と人間がコミュニケーションできる対話型CNC旋盤である。</p> <p>当時のNC装置は機械と別置で、プログラムは紙テープ運転が主流の中、機電一体でCRT表示の対話方式を採用し画期的であった。昭和51年の第8回日本国際工作機械見本市に出品し高い評価を得るものの、「使い方が解らない」との理由で、販売にはあまり結びつかなかったが、開発のノウハウがのちに発売したCNC旋盤の後継機に生かされ、性能や機能の充実と低価格化に結び付いていった。</p>